

沼津工業高等専門学校教養科（国語）教員公募について

- 1 職名及び人員 准教授または助教 1名
- 2 所属学科 教養科
- 3 専門分野 日本文学・日本語学・日本語教育またはこれらの関連分野
- 4 担当科目 「現代の国語」「言語文化」(1年)、「国語Ⅰ」(2年)、「国語Ⅱ」(3年)、「文学特論」(4年) および「留学生日本語」(留学生3～5年の授業)等から週8コマ(1コマ90分)程度
- 5 採用時期 令和7年4月1日
- 6 応募資格 次のいずれにも該当する方
  - (1) 高等専門学校での教育(クラス担任、クラブ顧問、学寮等での学生指導および委員会等での活動を含む)に熱意を持ち、教育と研究を両立できる、心身ともに健康な方
  - (2) 修士以上の学位を有する方または同等の研究・教育業績を有する方  
※ 高等学校・高等専門学校・大学等での教育経験があり、高等学校教員免許状(国語)取得者である方が望ましい。
- 7 提出書類
  - (1) 履歴書(一般的な様式を使用し、写真は画像貼付、電子メールアドレス、学位、資格、賞罰の有無を必ず記載すること)
  - (2) 業績一覧(著書・論文・口頭発表・学会活動・教育活動・各種競争的資金の取得状況など)(書式自由 学術論文は査読の有無を記載すること)
  - (3) 主要な著書・論文等5点以内のPDFファイル
  - (4) (3)の概要(各200字程度 書式自由)
  - (5) 「高専における教育と学生指導に関する抱負(800字程度)」および「研究に関する抱負(400字程度)」(書式自由)
  - (6) 応募者について所見を伺うことができる方2名の氏名と連絡先(所属、電話番号、電子メールアドレス)を明記した書類(書式自由)  
※採否の連絡は電子メールにて行います。  
※提出書類は原則として返却しません。
- 8 書類の提出方法 「7 提出書類」の記載順に単一のPDFファイルにして、応募者自身でJREC-INのWeb応募を利用して提出してください。なお、業績に著書が含まれる場合はお問い合わせください。
- 9 応募期限 令和6年11月10日(日)
- 10 選考方法 第1次選考：書類審査  
第2次選考：面接審査(模擬授業を含みます。詳細は第1次選考合格者に連絡します。)面接に伴う経費等は応募者負担となります。
- 11 待遇 「独立行政法人国立高等専門学校機構教職員就業規則」による。
  - (1) 職名：准教授または助教
  - (2) 給与：「独立行政法人国立高等専門学校機構教職員給与規則」による
  - (3) 諸手当：期末勤勉手当(いわゆるボーナス)が支給されるほか、要件を満たす場合は各種手当(住居・通勤・扶養手当等)が支給されます。
  - (4) 勤務時間：原則8:30～17:00(休憩45分)
  - (5) 休日：原則土・日・祝日、年末年始
    - ・本校は、1年単位の変形労働時間制を採用しており、学校行事等によって休日が勤務日になる場合があります。
    - ・年次有給休暇等の制度は「独立行政法人国立高等専門学校機構教職員の労働時間、休暇等に関する規則」によります。

(6) 加入保険：文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険

12 問い合わせ先 沼津工業高等専門学校 総務課人事係  
電話 055-926-5713  
電子メール jinji@numazu-ct.ac.jp

※問い合わせは電子メールでお願いします。タイトルは「沼津工業高等専門学校教養科(国語)教員公募に関する問い合わせ」として送信してください。

- 13 その他
- (1) 教員の力量を高めるため、他高専において一定期間教育研究活動に従事する人事交流制度があります。
  - (2) 応募者から取得する個人情報、沼津工業高等専門学校の教員採用のために利用するものであり、沼津工業高等専門学校以外の第三者へ提供することも公表することはありません。
  - (3) 本校は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を期待しています。業績及び人物の評価において同等と認められる場合には、女性を採用します。
  - (4) 本校は国際的に活躍できる技術者の育成に努めており、外国人の積極的な応募を期待しています。
  - (5) 本校では令和4年11月22日付け文部科学省高等教育局長通知に基づき、学生に対するハラスメント等を原因とする懲戒処分等の確認を行いますので、必ず履歴書に記載して提出をお願いします。なお、採用後、経歴詐称が判明した場合は懲戒解雇等の対象となります。